

# ウィンタースポーツ・ツーリストをターゲットにした来場者分析 ～滋賀県をモデルケースにして～

水谷 省吾 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 吉倉 秀和

キーワード：参加，動機，顧客満足

## 1. 緒言

スキーヤーは 1860 万人のピークから平成 21 年の参加人口は約 720 万人と減少。スノーボードは、約 420 万人で、とりわけ 10 代後半から 20 代にかけての世代ではすでに参加人口に逆転が生じている。(レジャー白書 2011)。

スポーツ参加の動機に関する研究は、楽しさ (enjoyment) やおもしろさ (fun) への欲求がスポーツ参加を促す最大の要因であり、その欠如や減少はスポーツ・ドロップアウトの原因となる。このことから、本研究はウィンタースポーツにおける参加者の動機を明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

### 【調査対象】

滋賀県B社の高校生以上のウィンタースポーツ実施者251人

### 【調査方法】

質問紙によるアンケート調査

### 【調査期間】

2012年2月初旬

### 【調査項目】

基本属性に加えて、参加動機については Brent A.B. & Daniel J.E. (2010) を援用し質問項目を作成し、回答を得た。

### 【分析方法】

クラスター分析を用いて抽出したクラスター間の比較検討を行った。

## 3. 結果

表1. クラスターごとの特性

平均	【Cluster 1】 (n=68/33.5%)	【Cluster 2】 (n=93/45.8%)	【Cluster 3】 (n=22/10.8%)	【Cluster 4】 (n=20/9.9%)	検定
来訪回数	4.12 (SD:6.00)	4.65 (SD:8.43)	4.05 (SD:4.50)	24.85 (SD:35.40)	F=14.726**
実施回数	20.59 (SD:65.1)	10.54 (SD:20.00)	15.68 (SD:22.46)	103.05 (SD:168.65)	F=9.91***
用具にかける費用	94693.88 (SD:162531.47)	96456.14 (SD:173411.24)	68888.89 (SD:30184.62)	348666.67 (SD:443667.61)	F=6.44***
実施回数	20.59 (SD:65.1)	10.54 (SD:20.00)	15.68 (SD:22.46)	103.05 (SD:168.65)	F=9.91***

表2. クラスターごとの因子別比較

	【Cluster 1】	【Cluster 2】	【Cluster 3】	【Cluster 4】
知識習得	3.66	2.81	1.74	4.73
社会性促進	3.49	2.96	1.98	4.81
技術熟達	4.28	3.58	2.42	4.93
刺激・回避	3.41	2.72	1.875	4.76

## 4. 結果のまとめ

また、中間層である 30 代～50 代の客層が非常に少なく、スポーツやレジャーというプロダクトそのものを楽しみながら、上手くなりたいといった技術向上傾向がある反面、ウィンタースポーツを他人との交流の機会にし、身体的や精神的な癒しを求める人は少ない。しかし、旅行やロコミ、レジャーに対しては強い興味関心があり、マーケティング戦略次第で将来的にリピーターとなり得ると考える。

## 5. 参考文献

Brent A.B. and Daniel J.E. (2010) The Influence of Leisure Motivation on Leisure Satisfaction.